

		21 推進会議全体			PR班 (メンバー11人)			チーム食生活レモン (メンバー17人)			ウォーキングII班 (メンバー25人)					
活動目標		<ul style="list-style-type: none"> ・第二次計画について広く市民に広める ・推進会議の開催や各班の活動の基盤を整える 			<ul style="list-style-type: none"> ・特に若い世代(子育て世代)を中心としたPRをすることで、より多くの人にめざせ健康あきる野21を知ってもらおう。 ・「めざせ健康あきる野21が第二次計画になったこと」、「市民参画で実施していること」「21推進メンバーを募集していること」についてPRする。 			<p>「健康を考えたバランスのよい食生活を実践するため」に、主食、主菜、副菜がそろった食事や朝食の大切さについて広める。</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・“定期的な実施促すため”に、「歩いて健康づくり」のウォーキング事業「ふれあいウォーク」を継承する。 ・“日常生活で身体活動を増やすため”の活動を考えていく。 					
(準備会等は含まない。)		活動名		回数	参加者数等	活動名		回数	参加者数等	活動名		回数	参加者数等			
		21 推進会議の開催		7回	メンバー 303人	ホームページによる PR		1回	—	ホームページ更新 (再掲：各班分)		2回	—	ふれあいウォーク	0回	コロナの感染拡大防止のため中止
		21 推進会議代表者会議		3回	メンバー 34人	健康仮面のコロナパンチ!大作戦!!チラシ発行		1回	—					～あきる野を楽しく歩いて健康づくり～コロナパンチ!大作戦!!	1回	一般 105人 メンバー 5人
		21 推進会議ホームページ更新 (全体+各班)			—									情報発信 (市ホームページ、PR班チラシ)	ホームページ2回 チラシ 1回	
		コロナパンチ!大作戦!～家庭でできる健康づくり～		1回	参加者 110人											
活動目標に対する振り返り	良かったこと できたこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページやチラシでPRできた。 ・会議、活動の中止、制約が生じたが、今できる方法を模索しメンバーと職員の協働を維持し活動できた。 ・21の目標に向かっていくことを共有できた。 ・(会議)書面でも繋がりが持てた。 			<ul style="list-style-type: none"> ・「健康仮面のコロナパンチ大作戦」良くできたと思う。三つの班それぞれの特徴が生かされている。 ・今まではイベントでのPRが中心であったが、イベントが中止されPR活動が出来なくなったことで、イベント以外でのPR方法について検討して実施出来たことが良かった。 ・ホームページが充実したのが良かった。 ・コロナのことがPRできて良かった。 			<ul style="list-style-type: none"> ・活動が難しい中でも、ホームページやリーフレットを通して、食について伝えることができた。 ・メンバーが考えたレシピを発信できた。 ・季節の野菜についてアイデアを書くことで、日頃の食生活について振り返り、思い直すことができた。 			<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいウォークは出来なかったが、個人で出来る「～あきる野を楽しく歩いて健康づくり～コロナパンチ!大作戦!!」の活動を始めることができたことが良かった。日々達成感があり、バッジの褒美も目標になる。ふれあいウォーク参加者との絆が弱まることを懸念していたので「コロナパンチ大作戦」はその解消にもなり良かった。 ・ふれあいウォークは実施出来なかったが、それでも班として集まり、ふれあいウォーク以外の取り組みを行い、全くの休止とがならなかったこと。 					
	今後の課題・取組	<ul style="list-style-type: none"> ・家でできる新たな健康活動の提案。 ・メンバーの確保。(新規の確保、現委員の継続) ・全体が集まる形式の会議が持てずとも、21StepII全体の連帯感を持ち続けられるようにすること。 ・集まったの会議ができない間は、チラシやホームページの更新を続ける。 			<ul style="list-style-type: none"> ・「5つの花びら」の周知が出来ていないのだが、今はそれどころではない状況にある。 ・コロナ禍での生活をどれだけ健康的に過ごしていくか?ポイントになりそう。 ・コロナ禍で積み上げてきた「協働」が今までの方法では不可能になっている。コロナ禍での「つながり」、また「協働」での健康増進の方法を新たに考え、後期に向けて計画を修正しなければならないと思う。 ・コロナの動向がよめないなので、どうしたらよいか分からない。 			<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスを踏まえた活動計画及び実施。 ・成果物等を広く市民に伝えていくこと。 ・(コロナの蔓延で活動の制限がされているため)メンバーのモチベーション維持。 			<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいウォークは、参加者スタッフ共にコロナウイルスに不安がなくなるまで、再開は難しいと思う。 ・何らかの形で市民が日常的に運動習慣をつけるための啓発活動が必要だと思う。 ・コロナによる新しい生活様式や外出の自粛により、計画書の目標である「コツコツからだを動かし、運動を続ける」を勧める必要性が高まっている。リモートで授業を受ける若者世代も含めた取組ができるとよい。 					
事業目的	活動の目的を理解し、共有しながら進める	まあまあできた (2)	活動の目的を理解し、共有しながら進める	まあまあできた (2)	活動の目的を理解し、共有しながら進める	まあまあできた (2)	活動の目的を理解し、共有しながら進める	まあまあできた (2)	活動の目的を理解し、共有しながら進める	まあまあできた (2)						
住民参画	各メンバーが主体的に、楽しく、事業を考え活動ができる	まあまあできた (2)	各メンバーが主体的に、楽しく、事業を考え活動ができる	まあまあできた (2)	各メンバーが主体的に、楽しく、事業を考え活動ができる	まあまあできた (2)	各メンバーが主体的に、楽しく、事業を考え活動ができる	あまりできなかった (1)	各メンバーが主体的に、楽しく、事業を考え活動ができる	まあまあできた (2)						
協働	お互いの役割を活かし共に活動する	まあまあできた (2)	お互いの役割を活かし共に活動する	まあまあできた (2)	お互いの役割を活かし共に活動する	まあまあできた (2)	お互いの役割を活かし共に活動する	まあまあできた (2)	お互いの役割を活かし共に活動する	まあまあできた (2)						
総合得点	B:おおむね適切 (6-8点)			B:おおむね適切 (6点)			C:改善が必要 (5点以下)			B:おおむね適切 (6点)						